研究キーワード
グループ・ダイナミックス, エネルギーコミュニケーション, 環境コミュニケーション, 環境活動, 環境配慮行動, 地域活性化

甲田 紫乃

准教授

KODA,Shino

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

URL http://jp.shinokoda.com/　E-Mail s-koda@kankyo-u.ac.jp

Profile

■主な担当科目　環境政策論, 大気汚染防止, 環境アセスメント概論, 環境教育論, 衛生工学特論, SDGｓ基礎, 麒麟の知

■研究者略歴

2007（平成19）年 3月	京都大学経済学部経済学科卒業
2009（平成21）年 3月	京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻修士課程修了
2012（平成24）年 9月	京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻博士課程修了
2012（平成24）年10月	オーストリア Johannes Kepler Universität Linz博士研究員
2016（平成28）年 4月	東京福祉大学国際交流センター特任講師
2018（平成30）年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科講師
2018（平成30）年 7月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科環境学専攻講師
2023（令和 5）年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科准教授
2023（令和 5）年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科環境学専攻准教授

Research

■取得学位　博士（エネルギー科学）（京都大学）

■専門分野　エネルギー科学，グループ・ダイナミックス，社会心理学，エネルギーコミュニケーション

■現在の研究テーマ
・日常生活における環境配慮行動
・環境活動における環境志向型規範の伝達
・環境教育，エネルギー教育
・環境アート
・コミュニティにおける関係性とコミュニケーション
・地域活性化
・エネルギーコミュニケーション／環境コミュニケーション

■所属学会　日本グループ・ダイナミックス学会，The International Association of Applied Psychology, The Asian Association of Social Psychology，On Sustainability, Climate Change: Impacts & Responses, 日本質的心理学会, 土木学会, 日本環境教育学会

■資格　日本語教育能力検定試験合格

Data

■研究等活動

【著書】
・「地域の未来を変える空き家活用―鹿野のまちづくり20年の挑戦」（分担執筆），2021年，ナカニシヤ出版
・「SDGsを考える―歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会―」（共編著），2020年，ナカニシヤ出版
・「こちら公立鳥取環境大学環境学部です!」（分担執筆），2019年，今井出版
・「21世紀国際社会を考える― 多層的な世界を読み解く38章―」（分担執筆），2017年，旬報社

【論文（すべて単著，査読有）】
・Koda,S.(2016). Horizontal Relationship and Environmental Communication: A Case Study on Collaborative Activities between SPES and Local Residents in Austria,The International Journal of Environmental Sustainability, Volume 12, Issue 2, pp.17-31.
・甲田紫乃.「コンビニエンスストアにおける資源浪費の構造―参与観察に基づく短報―」，2012年，集団力学, 第 29 巻, pp. 87-103.
・Koda, S. (2012). Theoretical Approach to the Collaborative Environmental Activities: Household Waste Disposal towards Environmentally Friendly Daily Life, International Journal of Humanities and Social Science, vol.2, No.6, pp.104-110.
・Koda, S. (2012). Towards Environmentally Friendly Management at "Konbini" : Case Study at a Convenience Store in Japan, Journal of Alternative Perspectives in the Social Sciences, vol.3, No.4, pp. 946-957.
・Koda, S. (2012). The Motivation for Proenvironmental Behavior: Household Waste Disposal towards Environmentally Friendly Daily Life: Case Studies in Finland, Journal of Educational and Social Research, vol.2, No.1, pp. 191-198.

【研究発表の抜粋（すべて単独，査読有）】
・Koda, S. (2021). Forest Environmental Education Contributing to Community Revitalization: A Collaborative Practice Towards the SDGs Based on An Activity Theoretical Approach, Going Green EcoDesign 2021, December 1-3, 2021, Tokyo, Japan.　3
・Persuading People to Become Greener Through Collaborative Activities, Going Green CARE INNOVATION 2018, Vienna, Austria, 2018
・Horizontal Relationship for A Better Environmental Activity: A Case Study on Collaborative Activities between SPES and Local Residents in Austria,The Second Biennial International Convention of Psychological Science (ICPS), Vienna, Austria, 2017
・The "Tree" as a Driving Force for Environmental Education, The Eleventh International Conference on Environmental, Cultural, Economic & Social Sustainability, Copenhagen, Denmark, 2015
・Creating a Collective Stream towards an Environmentally Friendly Daily Life, The Sixth International Conference on Climate Change: Impacts and Responses, Reykjavik, Iceland, 2014
・Building Sustainable Communities as Part of Revitalization: An Austrian Way Based on Robust and Mutual Relationship between SPES and Local Residents, The Tenth International Conference on Environmental, Cultural, Economic & Social Sustainability, Split, Croatia, 2014

■社会貢献活動

【委員など】
・鳥取砂丘コナン空港カーボンニュートラル拠点化協議会委員（2023）
・湯梨浜町SDGs・脱炭素社会推進会議オブザーバー（2023）
・鳥取市都市整備部指定管理者選考委員会委員(2021 ～ 2022)
・鳥取県地球温暖化防止活動推進センター　チームゼロ・カーボン会議　委員（2020）
・鳥取市　連携中枢都市圏ビジョン懇談会委員（2018 ～ 2022）

【研究関連活動】
・The On Sustainability Research Network（イリノイ大学）　Advisory Board Member (2019 ～)
・竹イノベーション研究会　メンバー（2019 ～）
・環境教育ネットワークENO（ENO Environment Online – A Global Virtual School and Network for Sustainable Development）日本/オーストリア・ナショナル・コーディネーター（2013 ～）

【地域の方々に向けた活動】
・「SDGs的活動の発送」, 2022, 鳥取県立米子東高等学校の生徒会主催による招待講演（鳥取県立米子高等学校）
・「わたしたちの生活から考えるSDGs ～持続可能な未来へ向けてのアクション」，2021，八頭町男女共同参画センター「かがやき」
・「KANラジ第2回テーマ「SDGsを考える」　歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会とは？」，2020，KANラジ出演（FM鳥取）
・「鳥取から考えるSDGｓ」，2020，鳥取市立桜ヶ丘中学校の総合学習（さくらはる課ｓ）における講演　（鳥取市桜ケ丘中学校）
・「環境コミュニケーション」，2020，「公立鳥取環境大学　未来への授業」（鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会事務局）
・「SLCPs」，2019，「公立鳥取環境大学　未来への授業」（鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会事務局）
・「地球温暖化とエネルギーについて」，2019，とっとりエコサポーターズ養成講座（鳥取県地球温暖化防止活動推進センター）

分野　地域振興／教育・人材育成

キーワード　環境活動／環境コミュニケーション／エネルギーコミュニケーション／環境教育／まちづくり／地域活性化／環境アート／環境教育ゲーム／グループ・ダイナミックス

環境活動が環境配慮行動に与える影響、環境コミュニケーション、エネルギーコミュニケーション、環境教育、環境アート、持続可能なまちづくりや地域活性化などについての研究

環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻
准教授
甲田 紫乃
KODA, Shino

SDGs 関連項目

研究内容

研究者自身が活動の当事者と協同的実践を行うことを通して現状を改善するというグループ・ダイナミックスの方法論を用いて、特に活動の参加者におけるコミュニケーション、関係性に着目し、研究を行っている。これまでにオーストリアやフィンランドを研究フィールドとして、地域活性化の取り組み（オーストリア）や自治体が住民に対して行う環境活動（フィンランド）、森林環境教育（オーストリア、フィンランド）、ソーシャルメデイアなどを活用した環境教育（フィンランド）や、植林活動を主軸としたグローバルな環境活動としての環境教育（フィンランド、オーストリア、日本）、人々の環境意識を啓発する環境活動としての環境アート（フィンランド、オーストリア）などについて研究してきた。これらの研究の成果の一つに、地域住民等が参加する会議における参加者の関係性として、Horizontal Relationship（水平的関係性）の提唱があげられる。帰国後は、鳥取県における関係人口に関する研究（鹿野町）や地域活性化に関する研究（佐治町）、環境教育を軸とした地域活性化に関する研究（八頭町）をはじめ、環境意識の啓発活動の一環としての環境教育ゲームの研究や環境アートなどに関する研究を、協同的実践の形で行っている。

想定パートナー

自治体、環境活動を実施する企業、教育関係、商工会、NPO、NGO　など

応用分野

地域活性化、ワークショップ（環境教育、エネルギー、SDGsなど）、まちづくり、合意形成

取組実績

・八東ふる里の森（八頭町、日本）
・いんしゅう鹿野まちづくり協議会（鳥取市、日本）
・五しの里さじ地域協議会（鳥取市、日本）
・成人教育／地域活性化機関SPES Zukunftsakademie（シュリアーバッハ、オーストリア）
・自治体：Kirchschlag（キルヒシュラーク、オーストリア）
・廃棄物管理会社：Turun Seudun Jätehuolto Oy (トゥルク、フィンランド)
・廃棄物管理会社：Pirkanmaan Jätehuolto Oy（タンペレ、フィンランド）
・コンビニエンスストア（京都、日本）

その他

【著書（編・共著）】
・SDGsを考える―歴史・環境・経営の視点からみた持続可能な社会（範囲：活動における関係性：持続可能な社会に向けてのパートナーシップのあり方）　ナカニシヤ出版　2020年3月
【著書（分担執筆）】
・地域の未来を変える空き家活用―鹿野のまちづくり20年の挑戦（範囲：関係人口を創り活かすための鍵）　ナカニシヤ出版　2021年2月
・こちら公立鳥取環境大学環境学部です!（範囲：活動の先にあるものを目指して）　今井出版　2019年3月
・21世紀国際社会を考える―多層的な世界を読み解く38章―(範囲：環境問題研究の新潮流―フィンランドの事例研究で見る環境配慮行動と環境意識―)　旬報社　2017年11月
【関連論文等抜粋】
・Koda, S (2016). Horizontal Relationship and Environmental Communication: A Case Study on Collaborative Activities between SPES and Local Residents in Austria, The International Journal of Environmental Sustainability, Volume 12, Issue 2, pp.17-31.
・甲田紫乃 (2012). コンビニエンスストアにおける資源浪費の構造―参与観察に基づく短報―, 集団力学, 第 29 巻, pp. 87-103.
・Koda, S. (2012). Theoretical Approach to the Collaborative Environmental Activities: Household Waste Disposal towards Environmentally Friendly Daily Life, International Journal of Humanities and Social Science, vol.2, No.6, pp.104-110.
・Koda, S. (2012). Towards Environmentally Friendly Management at "Konbini": Case Study at a Convenience Store in Japan, Journal of Alternative Perspectives in the Social Sciences, vol.3, No.4, pp. 946-957.